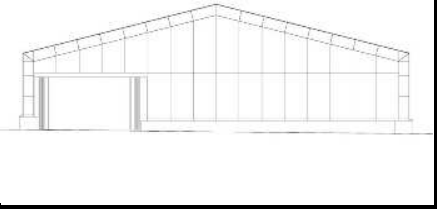


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京外かく環状道路本線トンネル(階数	地上1F
建設地	埼玉県三郷市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	8人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年3月12日
敷地面積	3,069 m ²	作成者	林 司
建築面積	2,280 m ²	確認日	2024年3月12日
延床面積	2,280 m ²	確認者	林 司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	常温の倉庫として、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 ・光害ガイドラインのチェックリストの一部を満たし、屋外照明はなし。
Q2 サービス性能	・階高は3.9m以上を確保。 ・壁長さ比率=0.1未満。 ・電気配線は構造部材及び仕上げ材を痛めることなく更新可能。	
LR2 資源・マテリアル	・構造躯体は仕上げ及び、設備とは干渉しない。 ・断熱材を使用しない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 東京外かく環状道路本線トンネル(北行) 大泉南工事(倉庫B)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									2.2
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-				
1.2 遮音		-	-	-	-				
1 開口部遮音性能		-	-	-	-				
2 界壁遮音性能		-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境									
2.1 室温制御		-	-	-	-				
1 室温		-	-	-	-				
2 外皮性能		-	-	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	-	-				
2.3 空調方式		-	-	-	-				
3 光・視環境									
3.1 昼光利用		-	-	-	-				
1 昼光率		-	-	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		-	-	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	-	-				
3.3 照度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		-	-	-	-				
4 空気質環境									
4.1 発生源対策		-	-	-	-				
1 化学汚染物質		-	-	-	-				
4.2 換気		-	-	-	-				
1 換気量		-	-	-	-				
2 自然換気性能		-	-	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能			0.43						3.6
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-				
1 広さ感・景観		-	-	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		-	-	-	-				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.8	0.50						2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.50						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.50						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-						
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-						
2.4 信頼性		3.0	0.20						
1 空調・換気設備		-	-						
2 給排水・衛生設備		-	-						
3 電気設備		3.0	1.00						
4 機械・配管支持方法		-	-						
5 通信・情報設備		-	-						

3 対応性・更新性			4.4	0.50	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は3.9m以上を確保。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.1未満。	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			5.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	電気配線は構造部材及び仕上げ材を痛めることなく更新可能。	5.0	1.00	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = -	-	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.50	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		構造躯体は仕上げ及び、設備とは干渉しない。	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20	-	-	4.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	断熱材を使用しない。	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.50	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.8	0.50	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害ガイドラインのチェックリストの一部を満たし、屋外照明はなし。	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	東京外かく環状道路本線トンネル	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.0	=	2.0
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

:入力欄